

「Tellus利用促進実証事業」 成果報告書（概要）

| | |
|------|--|
| 事業名 | 広島県発の衛星データ利活用可能性検討事業 |
| 代表者 | 株式会社野村総合研究所 |
| 連携先 | 広島県、ひろしまサンドボックス |
| 事業概要 | ・ひろしまサンドボックスで行われている実証事業の内、「レモン生産のICT化」、「カキ養殖業のIoT化」、「瀬戸内の海洋交通データの基盤構築」の3つのテーマを中心に、衛星データの利活用ニーズの発掘・具体化および、衛星データの利用可能性調査を実施した。 |

調査事業成果

| ユーザー要求まとめ | | | |
|--|------------------------------|--------|----------|
| ○衛星データの活用ニーズ（ユーザーニーズ） | | | |
| ◆レモン生産のICT化：島しょ部に点在する農園間で育成状況の比較を行い最適な生育方法を確立する | | | |
| ◆カキ養殖業のIoT化：衛星データを活用し最適な生育エリアの把握やカキの産卵時期の高精度予測による採苗不調を低減する | | | |
| ◆海洋交通データの基盤構築： レジャー利用で問題となる浅瀬・岩礁を衛星画像から検知し海洋マップに反映する | | | |
| テーマ | 衛星データに対する要求 | | |
| | センサ・物理量 | 必要解像度 | 取得頻度 |
| レモン生産のICT化 | 光学(可視光・近赤外) | 10~30m | 2週～毎月 |
| カキ養殖業のIoT化 | 海水面温度 クロロフィル _a | 数百m | 数日～毎週 |
| | 光学(可視光) | 数m | 毎日(産卵時期) |
| 海洋交通データの基盤構築 | 光学(可視光・近赤外) | 2m | 半年 |
| ○その他のニーズ | | | |
| ・ 海洋や農業に関する情報の充実（「海しる」や「WAGRI」などによって提供されている情報） ⇒海洋では共同漁業権などの区域情報、海上構造物、船舶の位置情報、航路（定期・非定期とも） 海上の風向・風力、潮流・潮位の情報 | | | |
| ・ 衛星画像購入の一括窓口 ⇒現状では画像購入をする際には複数の代理店に並行して問い合わせをかけ、複数のリソースから欲しいデータを組み合わせて利用する。ユーザーにとって非常に大きな負担になるので、Tellusを通じて欲しい画像の要求を出せば各代理店から目的に合致したデータを一括して提案・購入できる機能があると良い | | | |

| Tellus実装に向けた課題と今後の展望 |
|--|
| ・ひろしまサンドボックスにおける実証事業は2020年度も継続して実施されるため、今後も事業化に向けた検討を進め、2021年度以降のサービス化を目指す |
| ・ 今後は衛星データを活用したサービスの効果検証や解析対象エリアの拡大等を行っていく必要がある |
| ・ ただし農業、養殖業などは日々の変化（日次・週次等）の抽出を広域に行いたい、というニーズが高いが、現状のデータでは頻度の問題で十分な解析が行えない状況にある。 |
| ・ 現在掲載されている政府衛星のデータ拡充と併せてTellusマーケットにおいて多様な衛星画像プロバイダーのデータを購入できるような環境整備が望まれる |